

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

令和4年10月31日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和4年10月28日（金） 9時00分～9時50分
開催場所	2階 大会議室2-1
出席者職氏名	〔担当部課〕 大熊子ども・健康部長、飯田子ども支援課長、平間子ども支援課主査 〔政策推進会議メンバー〕 村山総合行政部長、豊島総務部長、松永市長公室長、尾崎人事課長、外立財政課長、松田政策推進課長 〔関係部課〕 松井市民生活部長、今野教育政策部長、浅見公共施設マネジメント推進室長、佐野市民活動推進課長、土崎生涯学習課長 (計14人)
欠席者職氏名	(計 0人)
説明員職氏名	飯田子ども支援課長 (計 1人)
議 題	志木地区における児童センターの整備について
結 果	案のとおり庁議に付議することとなった。
事務局職員職氏名	渋谷政策推進課主席主幹、小高政策推進課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<志木地区における児童センターの整備について>

- ・飯田子ども支援課長より、概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

市民会館及び市民体育館複合施設建設予定地の一部を計画地とし、新たに児童センターを整備する。また、児童センターの整備に当たっては、コミュニティスペースつつじ内に設置を予定している子育て支援センターを複合化するとともに、市民会館及び市民体育館複合施設とのソフト面及びハード面ともに、連携を図ることで志木地区を拠点とした多機能性のある施設とする。主な機能は次の通り。

<児童センター>

- ・身体的運動
- ・創作活動
- ・学習・読書
- ・吹奏楽やバンド練習
- ・ダンス
- ・多世代交流
- ・配慮が必要な子どもとその家庭への支援 等

<子育て支援センター>

- ・あそびの広場
- ・子育て相談

今後のスケジュールとしては、令和8年度の市民会館及び市民体育館複合施設との同時開設に向け、令和5年度は学識経験者等の有識者や子育て支援団体の代表者などで構成する基本計画策定検討委員会を設置し、基本計画を策定する予定である。

○質疑

メンバー：施設の規模はどれくらいか。

担当部課：3階建て、延べ床面積700㎡程度を想定している。

メンバー：駐車場・駐輪場はあるか。

担当部課：市民会館及び市民体育館複合施設の駐車場・駐輪場を使う予定である。

メンバー：バンド練習や吹奏楽部はどこで行うのか。

担当部課：市民会館及び市民体育館複合施設を使用することを想定している。

関係部課：その場合は有料とするのか。

担当部課：料金設定は今後検討する。

関係部課：無料にしてしまうと、すぐに予約が埋まってしまい、児童センター以外の利用者の予約が取れなくなってしまうのではないか。

関係部課：児童センター利用者が自由に使うのではなく、児童センターの事業として利用するという形はどうか。

メンバー：学習スペースも作る予定か。また、夜間も開放するのか。

担当部課：高校生も利用することを想定し、夜間も利用可能な学習スペースを設置することが望ましい。

メンバー：宗岡子育て支援センターの面積はどれくらいか。

担当部課：219㎡である。

メンバー：財政的な補助はあるのか。

担当部課：児童センターについては次世代育成支援対策施設整備交付金の活用を検討している。子育て支援センターについては、別の補助金制度を活用する。

メンバー：補助金は最大限活用してほしい。

メンバー：今回検討している子育て支援センターはどれくらいの面積か。

担当部課：100㎡程度を予定している。

関係部課：コミュニティスペースつつじの会議室での仮設の子育て支援センターについては令和8年度まで続くのか。

担当部課：その予定である。

メンバー：物価高騰で、同じものを作ろうとしても費用が高くなってしまう。

関係部課：全体的にスリム化はしていきたい。

○結論

案のとおり庁議に付議することとなった。

3 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。